

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																							
専門学校 水戸ビューティカレッジ		平成15年3月25日		関根 浩美		〒 310-0812 (住所) 茨城県水戸市浜田2丁目14番14号 (電話) 029-228-2188																																							
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																							
学校法人八文字学園		昭和57年4月1日		八文字 和宏		〒 310-0812 (住所) 茨城県水戸市浜田2丁目16番12号 (電話) 029-221-8800																																							
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																																							
衛生	衛生専門課程	総合ビューティ学科			平成17年文部科学省 認定	—																																							
学科の目的	トータルビューティを基本理念として、美容師(美容業)のサロンワークに必要な技術や知識、又エステ、ネイル、メイク等も総合的に学習し、即戦力の人材育成を目指す。																																												
認定年月日	平成26年3月31日																																												
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	時間																																					
	2 年							昼間	1740	540	—	1200	—	—																															
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																																							
60人		30人	0人	5人	5人	10人																																							
学期制度	■1学期:4月1日～9月30日 ■2学期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 評価の基準: A,B,C,Dの評価をもって表し、A,B,Cを合格とし、Dは不合格とする 評価の方法: 学期末試験による点数評価及び課題提出物の評価																																								
長期休み	■学年始:4月1日～4月11日 ■夏季:7月19日～8月20日 ■冬季:12月21日～1月6日 ■学年末:3月4日～3月31日			卒業・進級条件	卒業要件: 所定の授業科目及び授業時間数を履修していること。 卒業時 1740時間 進級要件: 所定の授業科目及び授業時間数を履修していること。 進級時 900時間																																								
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 欠席者の保護者へ連絡。 学生との個別面談。 保護者、学生との三者面談。			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 ひたち国際大道芸 フェイスペイントボランティア ファッションクルーズ ハロウィンボランティア ■サークル活動: 無																																								
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和6年度卒業生) エステサロン、ネイルサロン、化粧品メーカー			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)																																								
	■就職指導内容 1年次の1月に、校内ガイダンス開催。就職活動の為の資料公開。(求人票、昨年の求人データ等)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AEA上級認定エステティシャン</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>メイク検定 2級</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル検定 中級</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>ネイリスト検定 2級</td> <td>③</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AEA上級認定エステティシャン	③	11人	11人	メイク検定 2級	③	2人	2人	ジェルネイル検定 中級	③	1人	1人	ネイリスト検定 2級	③	5人	3人																
	資格・検定名	種別	受験者数		合格者数																																								
	AEA上級認定エステティシャン	③	11人		11人																																								
メイク検定 2級	③	2人	2人																																										
ジェルネイル検定 中級	③	1人	1人																																										
ネイリスト検定 2級	③	5人	3人																																										
■卒業生数 : 12 人 ■就職希望者数 : 12 人 ■就職者数 : 12 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																																										
■その他 ・進学者数: 0人 (令和 6 年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)			■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等																																										
中途退学の現状	■中途退学者 0名 令和6年4月1日時点において、在学者30名(令和6年4月1日入学者を含む) 令和7年3月31日時点において、在学者30名(令和7年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 中退者無し			■中退率	0%																																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度、ファミリーサポート特典 による減免			■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																																									

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
美容業界から、必要とされる実践的な知識及び技術の修得が求められるため、各企業、業界団体と連携し授業に対し、組織的な教育を行うことにより、実務に即した知識や技術の修得が可能となり、即戦力の人材育成となる専修学校専門課程における職業教育の向上につながる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
教育課程編成委員会は、職業教育水準の維持向上を目的として、業界団体等と連携し、業界における人材の専門性に関する動向・国又は地域の産業振興(の方向性)・新成長分野の知識・技術等を反映して、教育課程の編成や授業方法の改善・見直しのための提言等を行うものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合 顧問	令和2年4月1日～令和7年3月31日	①
堤 圭司	堤埋美容商事株式会社 代表取締役	令和2年4月1日～令和7年3月31日	③
井川 雄大	タカラベルmont株式会社 北関東理美容営業所 所長	令和2年4月1日～令和7年3月31日	③
松井 忠重	(株)ティーエム・プロジェクト 代表取締役	令和2年4月1日～令和7年3月31日	③
大友 光男	大友工芸 代表	令和2年4月1日～令和7年3月31日	③
関根 浩美	水戸ビューティカレッジ 学校長	令和2年4月1日～令和7年3月31日	—
横須賀 京子	水戸ビューティカレッジ 美容学科長	令和2年4月1日～令和7年3月31日	—
内田 さゆり	水戸ビューティカレッジ 総合ビューティ学科長	令和2年4月1日～令和7年3月31日	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(8月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年8月20日 14:00～15:00

第2回 令和7年3月14日 14:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

編成委員会からの提言等に関して、授業及び学生に対する指導力及び就業先に必要とされる実践的な知識や技術の修得に直結するものは、授業科目に反映させ産学連携としての効果を上げる。学習能力の違う学生たちへの個別指導や検定対策を工夫してほしい。プレゼンテーション等の授業やディスカッション、道徳的な授業を取り入れてはどうか。等の意見があった。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業と連携した授業を通して、就業先に必要とされる知識及び技術の向上や適切な判断力、コミュニケーション力を養成し、専門課程における職業教育の向上につなげる。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

企業と連携した授業を通し、知識及び技術向上の習熟度の成果として、校内コンテスト、美容大会への参加を行い、その結果を委員会等で報告する。メイク、ネイル、エステ等の実習授業に関しても、実技試験、課題提出（ネイル、メイク）などをA.B.Cの三段階で評価する。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
トレンドメイク	「なぜ」「どのように」似合うかを分析し、伝えることができる「理論」と似合う色にとどまらず、求めるイメージを演出できる「技能」を身につけ、その人の肌、ひとみ、唇などの色に調和する色を見つける	(株)ふおれすと

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学校法人八文字学園水戸ビューティカレッジ教職員研修規定に基づき、職務の遂行に必要な知識・技能等を修得するために、本校又は研修の実施に当たる機関が定める規律にしたがって計画的に研修を受講している。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: メイクアップアーティスト1級講師 連携企業等: 一般社団法人MSOJ日本メイクアップ連盟
期間: 令和6年8月24日(土)10:00~12:00 対象: 1名
内容: メイクアップに関する知識・技術を教育施設で指導・教授を行う為の講師試験

研修名: 連携企業等:
期間: 対象:
内容:

研修名: 連携企業等:
期間: 対象:
内容:

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名: AEA登録試験官・試験官・認定講師勉強会研修 連携企業等: 一般社団法人日本エステティック業協会
期間: 令和6年8月6日(火) 対象: 1名
内容: 電気学・機器学 わかる・楽しい・身をのりだす指導 AEAテキストの実践的活用法
学生、部下に興味をもたせる導入編

研修名: 連携企業等:
期間: 対象:
内容:

研修名: 連携企業等:
期間: 対象:
内容:

(3) 研修等の計画	
① 専攻分野における実務に関する研修等	
研修名: AEA登録試験官・試験官・認定講師勉強会研修 期間: 令和7年8月(予定) 内容: 技術試験に関する研修等(予定)	連携企業等: 一般社団法人日本エステティック業協会 対象: 1名
研修名: 期間: 内容:	連携企業等: 対象:
研修名: 期間: 内容:	連携企業等: 対象:
② 指導力の修得・向上のための研修等	
研修名: AEA上級認定ステップアップセミナー 期間: 令和7年6月24日(水) 内容: 健康ダイエットと運動の実践 運動生理学と栄養学の基礎理論・運動実演	連携企業等: 一般社団法人日本エステティック業協会 対象: 2名
研修名: 期間: 内容:	連携企業等: 対象:
研修名: 期間: 内容:	連携企業等: 対象:

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本校の学校評価は、本校が自らの教育活動、その他の学校運営について、組織的、継続的な改善を図り、その説明責任を果たすこと、及びそれによって、企業当からの理解と参画を得て、その連携協力による教育を推進することにより、職業教育の水準の維持向上が図れることを期して行うものである。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生や各業界団体者の豊富な実務経験を通して、就業先となる美容業界から、美容の仕事をする上で必要な知識、技術等を授業に反映させ、専修学校専門課程における職業教育の向上につなげる。各委員から、美容分野の仕事に就く場合は、技術も大切だが、お客様に対する接客技術もとても重要になってくることを、学生に理解させ就職して欲しいとの要望。接客技術必要な知識として指導する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年3月31日現在

名前	所属	任期	種別
海老澤 孝宏	株式会社AVANZARE(アクセスマーン)講師	令和2年4月1日～令和7年3月31日	卒業生
高野 勇人	美容室 pua*nanala オーナー	令和2年4月1日～令和7年3月31日	卒業生
赤上 喜久子	茨城県美容業生活衛生同業組合顧問	令和2年4月1日～令和7年3月31日	団体役員
井川 雄大	タカラベルmont株式会社 北関東東理美容営業所 所長	令和2年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
堤 圭司	堤理美容商事株式会社 代表取締役	令和2年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
松井 忠重	(株)ティーエム・プロジェクト 代表取締役	令和2年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
大友 光男	大友工芸 代表	令和2年4月1日～令和7年3月31日	企業等委員
大部 昇	サンライト旅行合同会社 取締役相談役	令和2年4月1日～令和7年3月31日	地域住民
田村 浩寿	茨城県美容業生活衛生同業組合 常務理事	令和2年4月1日～令和7年3月31日	PTA

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.mito.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和7年7月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

当該専修学校に関する保護者及び地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供するため、ホームページにて公開。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要
(2) 各学科等の教育	各教科の教育
(3) 教職員	教職員
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育
(5) 様々な教育活動・教育環境	その他の教育活動
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学費
(8) 学校の財務	財務状況
(9) 学校評価	自己点検評価
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.mito.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和7年7月31日

授業科目等の概要

(衛生専門課程総合ビューティ学科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			メイクアップⅠ	メイクアップ概論、形態学、色彩、スキンケア、ベースメイク、アイメイク、リップメイクなどの基礎知識を修得する。	1・通	200	6	△		○	○			○	○
2	○			メイクアップⅡ	イメージメイク、ブライダルメイク、映像メイク、舞台メイクなど応用メイクの知識、技術を修得する。	2・通	90	3	△		○	○		○		
3	○			ネイルケアⅠ	ネイルケア、カラーリング、フラットアート、リペアなどの基礎知識、技術を修得する。	1・通	200	6	△		○	○		○	○	○
4	○			ネイルケアⅡ	アクリルネイル（エンボスアート、3Dアート等）、ジェルネイルの技術を修得し、卒業作品を制作する。	2・通	180	6	△		○	○		○	○	
5	○			エステティックⅠ	ボディ、フェイシャル、脱毛の基礎知識、接客対応、ボディトリートメント等を修得する。	1・通	200	6	△		○	○		○		
6	○			エステティックⅡ	カウンセリングやエステ機器を使用した、ボディ、フェイシャル等の応用技術を修得する。	2・通	180	6	△		○	○		○		
7	○			エステティック学科Ⅰ	エステティック概論、皮膚科学、解剖生理学、運動生理学、栄養学、化粧品学、関連法規、衛生消毒、救急法について学習する。	1・通	54	3	○			○		○		
8	○			エステティック学科Ⅱ	エステティック電気学、機器学、カウンセリング、サロンマネジメント、東洋西洋のセラピー、脱毛学、について学習する。	2・通	72	4	○			○		○		
9	○			美容総合	まとめ髪、アップスタイル等の基礎技術を修得する。	1・通	72	4	○			○		○		
10	○			パーソナルカラー	「なぜ」「どのように」似合うかを分析し、伝えることができる「理論」と似合う色にとどまらず求めるイメージを演出できる「技能」を身につける。	2・通	72	6				○		○		

11	○		トレンドメイク	トレンドをおさえたメイクを研究し実践する。	2・通	90	3						○				○	○
12	○		コンピュータ実習Ⅰ	ワープロソフトを使用しビジネス文書の作成から簡単なポスター作成までを学習する。	1・通	30	1						○	○				○
13	○		コンピュータ実習Ⅱ	パワーポイントを利用し、プレゼンテーションスキルを身に着け学習する。	2・通	30	1	○					○	○			○	
14	○		色彩学	色の分類、見え方、感情、色名などの基礎を学習する。	1・通	36	2	○					○				○	
15	○		ビジネス実務	接遇マナー、コミュニケーション能力、社内・社外文書等社会人として必要なビジネスマナーについて学習する。	1・通	36	2	○					○					○
16	○		アロマセラピー	アロマセラピーの歴史、利用法、精油についての基礎知識、プロフィールについて学習する。	2・半	18	1	○					○					○
17	○		コスメ	化粧品に対する知識、肌悩みに応じた化粧品やメイク方法の基礎知識を学習する。	2・通	36	2	○					○				○	
18	○		健康管理Ⅰ	体内時計の働きを踏まえ、さまざまな体のリズムとそれらをうまく機能させる方法について学ぶ。	1・通	36	2	○					○				○	
19	○		健康管理Ⅱ	体内時計の働きを踏まえ、さまざまな体のリズムとそれらをうまく機能させる方法について学びカウンセリングの実践を行う。	2・通	36	2	○					○				○	
20	○		デザイン	顔のプロポーション、角度の変化による顔型など、いろいろな描き方によるイメージメイクの違いを学習する。	2・半	18	1	○					○				○	
21	○		LHR	美容学生としてのマナーやこれから社会人になるにあたっての心構えや考え方について学ぶ。就職対策など。	1・通 2・半	54	3	○					○				○	
合計						21 科目			1740 単位 (単位時間)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：定められた履修時間をすべて履修しD(不合格)がないこと		1学年の学期区分	2期
履修方法：試験、課題提出、授業態度等による総合評価でA、B、Cの評価を得る		1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。